

**宮古島市伊良部商工会、沖縄県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携により
事業承継（M&A）を支援****～宮古島の地元に愛される生菓子店の事業承継を支援～**

沖縄振興開発金融公庫（理事長：新垣尚之、以下「当公庫」）は、「事業承継における連携に関する覚書（締結日：令和5年3月9日）」に基づき、宮古島市伊良部商工会（会長：奥濱 剛、以下「伊良部商工会」）及び沖縄県事業承継・引継ぎ支援センター（統括責任者：佐藤 英彦、以下「引継ぎセンター」）との連携により、生菓子製造業を営む譲渡事業者の上里正子氏（商号：いもともや食品加工所、所在地：沖縄県宮古島市、以下「いもともや」）と飲食業を営む譲受企業のsu-produce株式会社（本社所在地：沖縄県宮古島市、代表取締役社長：中村進、以下「su社」）とのM&Aによる事業承継を支援いたしました。

事業承継の概要

いもともやの上里氏は、宮古島産の紅芋や栗芋を自家栽培し、それらを使用したお餅や紅芋ペースト等の生菓子の製造・販売を行っています。商品は「島の駅みやこ」や「JAファーマーズマーケットあたらす市場」、「ワイドー市場」で販売されており、地元のお客さまだけでなく観光客のお土産としても知られています。また、十六日祭やお彼岸、冠婚葬祭等の行事用としての需要があるほか、紅芋ペーストは島内のスイーツ店や飲食店向けに卸売を行うなど、いもともやは地域に親しまれているお店ですが、店主の上里氏が高齢で後継者も不在だったことから、事業承継を模索していました。一方、譲受企業のsu社は、伊良部島にて宮古島産の紅芋を使用したスイーツカフェ「めちゃ芋四代目中村屋」を運営し、同店で販売するスイーツに使用する紅芋もち等をいもともやから仕入れており、その関係から、いもともやの事業承継を希望していました。上里氏は、su社とのこれまでの取引関係、また芋を使用したスイーツ開発に対する同社の熱意等に共感し、su社への事業承継を決めました。

事業承継後su社は、上里氏を従業員として雇用する予定となっており、いもともやの製造ノウハウや人気の味は守りつつ、さらなる業容拡大に取り組むこととしています。

支援の概要

当公庫宮古支店（支店長：大城一也）が、いもともやの上里氏への事業承継診断を通じて、同氏が第三者承継を検討していることを認識し、同氏に当公庫が運営する「事業承継コネクト（「事業承継マッチングサービス」）」の案内を行ったことをきっかけに今回の支援が始まりました。上里氏は当初からsu社への承継を念頭に置いていましたが、同氏から、su社との正式な引き合わせを含めて当公庫の支援を受けたいとの希望があったことから、当公庫のマッチングサービスを活用することとしました。初めに、su社がスイーツカフェを営む伊良部島の伊良部商工会が、su社が事業承継コネクトに譲受希望者として登録を行うための紹介状を作成し、両者の引き合わせが円滑に進むよう支援いたしました。その後、当公庫は宮古支店において、いもともやの上里氏とsu社の引き合わせを実施し、両者合意後に引継ぎ支援センターへの仲介を行いました。そして引継ぎセンターは、両者の事業譲渡契約締結に向けた諸手

続きについて支援いたしました。

いもともやは、「お芋」を中心とした生菓子製造業者として、地域に親しまれている事業所であり、今回 su 社への事業承継が果たされたことにより、宮古島で慣れ親しまれた味や製造ノウハウが受け継がれ、お店が存続することができました。当公庫としましては、今回のM & Aに伴い、地域資源の更なる活用や製造ノウハウの承継により、su 社の事業がさらに発展することを期待しています。



「事業承継コネクト」の概要

「事業承継コネクト」は、親族や従業員に後継者がいなくてお悩みの方に、事業を引き受けたい方を紹介・マッチング支援する無料のサービスです。具体的には、「事業を譲りたい方」と「事業を引き受けたい方」を沖縄公庫ホームページで募り、ニーズの合致する両者を沖縄公庫が引き合わせるサービスです。

※「事業を譲りたい方」の情報は、沖縄公庫ホームページに掲載し、広く「事業を引き受ける方」をお探しします。なお、ホームページに掲載する際は、実名又は匿名かをお選びすることができます。



【事業承継コネクトページ】

<https://www.okinawakouko.go.jp/jigyosyokei/>



当公庫は、地域に密着したサービスや商品を提供する事業者を未来につなぐため、引継ぎセンターや商工会議所、商工会などの支援機関と連携しながら、事業承継に取り組む方をマッチングサービスと金融サービスの両面から支援してまいります。

〔問合せ先〕

業務統括部事業者支援推進室 (担当: 松田) TEL 098 (941) 1908